

自由民主党会派と県民をつなぐ

リンク
Link

2014.4 No.24

世界の真ん中で 輝く秋田



自由民主党会派 会長
鈴木 洋一

午年^{うま}の今年、県議会自民党会派は力強く走る駿馬のように難しい課題に怯まずに挑戦して参ります。

危機的な状況にあった日本経済は「3本の矢」によってV字回復してきましたが、正念場はこれからであります。景気回復を全国津々浦々、秋田県でも実感できるようにしなければなりません。

私たちが誇りに思う「瑞穂の国、日本」を取り戻す環境が整って参りました。私たちは安倍総裁のもと総選挙に勝ち、

参議院選挙に勝ち、そして来年の統一地方選挙に勝利することをもって、政権奪還は完成するものと考えております。

日本を取り戻すということは、日本の自信、誇り、責任、信頼を取り戻すことであると肝に銘じ、併せて、秋田県の次の時代に対する使命感、緊張感、責任感を持って行動して参ります。

県民の皆様のさらなる信頼を賜り、世界の真ん中で輝く秋田県になるよう、県民の皆様とともに頑張って参ります。

秋田を更に元気に！

―「攻め」の姿勢が安定した地域づくりに繋がる―

平成26年度当初予算は、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」のスタートの年として、プランに掲げる6つの戦略に基づく施策・事業を中心に推進する、元気な秋田を創り上げていくための積極型の予算としています。

特に、本県の産業基盤の強化を図るため、中小企業振興条例に基づく各種施策や国の農政改革への対応などを重点的に推進するとともに、東アジア等を中心とした海外展開や国内外からの誘客による交流人口の拡大等を積極的に展開していきます。

また、なお厳しい状況にある県内経済情勢を踏まえ、引き続き経済・雇用対策を実施します。

平成26年度当初予算の概要

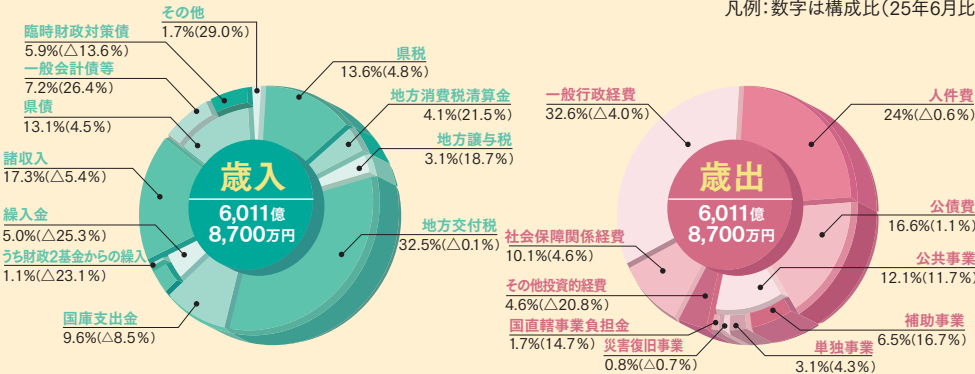
当初予算額：6,011億8,700万円

25年6月補正後比：▲49億8,700万円、▲0.8%

※肉付け予算である25年6月補正後予算と比較

秋田県一般会計当初予算の構成

凡例：数字は構成比(25年6月比)



I 産業構造の転換に向けた産業・エネルギー戦略

249億4,000万円

中小企業の振興施策を総合的に推進するとともに、秋田の成長を牽引する企業の育成と成長分野への新たな事業を展開します。また、東アジア等の経済成長を秋田の発展に取り込むため、県内企業が海外に打って出る環境を整備します。

新 経営安定資金貸付事業【経営力強化枠】
10億6,832万円
・中小企業の経営改善等を支援

新 事業承継推進事業
1,977万円
・中小企業の事業承継に向けた取組を支援

新 がんばる中小企業応援事業
3億5,000万円
・意欲を持って競争力を強化しようとする中小企業を支援

新 先導的技術等開発支援事業
5,659万円
・今後の成長分野で先導的な技術開発等に取り組む県内企業等を支援

● 次世代自動車参入プロジェクト事業
5,830万円
・自動車産業における東北地域の拠点化を機に、県内企業の参入を促進

● 沖合洋上風力発電導入促進事業
1,735万円
・本県沖での洋上風力発電の早期事業化を促進

新 東南アジア経済・観光交流促進事業
688万円
・県内企業の東南アジアへの進出や東南アジアとの経済・観光交流を促進

新 県内企業輸出促進応援事業
1,711万円
・県内企業が行う海外への販路拡大に向けた取組を支援

● 秋田港国際コンテナターミナル施設整備事業
13億3,800万円
・国際物流拠点港としての機能を強化



II 国内外に打って出る攻めの農

米政策の見直しなど、農政改革を盛り込んだ国のとともに、生産性の向上やブランド化、付加価値化のための農林水産戦略」による事業を積極的に推進して

新 農地中間管理総合対策事業
7億3,129万円
・農地の流動化を促進

新 日本型直接支払交付金事業
21億4,348万円
・農業農村の多面的機能を維持・発揮するため、地域活動や営農継続等に対し支援

新 飼料用米総合対策事業
2,048万円
・飼料用米の生産・流通対策

新 次代を担う秋田米新品種開発事業
3,999万円
・「コシヒカリを超える極良食味品種」の開発を推進

● 園芸メガ団地育成事業
3億2,575万円
・本県の園芸振興をリードする大規模園芸団地を整備

新 未来にアタック農業夢プラン応援事業
4億9,400万円
・戦略作物の産地拡大や経営の複合化に必要な機械・施設等の導入に対し助成

新 野菜ナショナルブランド化総合対策事業
8億8,165万円
・えだまめ、ねぎ、アスパラガスなどの生産・加工・販売対策を集中的に実施

III 未来の交流を創り、支える観

各種大会の開催や多様なメディアの活用により、市場ニーズに対応した商品づくりを強化し、首都圏等スポーツについては、東京オリンピック開催等も見また、交通については、道路網の整備など総合的な

● 国民文化祭推進事業
7億3,204万円
・県・市町村・県民一体となって国民文化祭を開催

新 あきたびじょんブランド化推進事業
8,970万円
・新たな地域資源を発掘するとともに様々なメディアを活用し本県の魅力を発信

● 観光流動推進事業
3,136万円
・隣県等をターゲットとした誘客促進、大規模イベントへの助成

新 海外誘客プロモーション強化事業
4,851万円
・韓国、台湾、タイなど東アジア・東南アジアからの誘客を拡大

新 地域特産品サポート事業
3,547万円
・地域の素材を活かした魅力ある特産品の開発等を支援

新 秋田の食輸出強化事業
1,836万円
・東アジア、欧米・オセアニア地域を中心に県産農産物や日本酒等の販路を拡大

● スポーツ王国創成事業
3億533万円
・本県スポーツの競技力向上を図る

林水産戦略

…………… **95億8,600万円**

「農林水産業・地域活力創造プラン」に対応すると
より国内外に打って出る施策に取り組むなど、「攻
めきます」。

新 攻める「秋田の花」推進事業 …… 1,910万円
・県産花きのオリジナル品種開発、生産拡大、販売対
策を総合的に実施

● 秋田県産牛ブランド確立推進事業
…………… 6,153万円
・県産牛のブランド化を推進

● 6次産業化支援事業 …… 2億8,468万円
・農林漁業者の6次産業化に向けた取組を総合的に
支援

● 水産加工振興対策総合推進事業
…………… 1,869万円
・水産物の加工体制の整備等を推進

新 「オール秋田で育てる」林業トップランナー
養成事業…………… 3,845万円
・将来の林業を担う若手人材を育成



光・交通戦略

…………… **109億6,400万円**

国内外からの誘客を積極的に展開します。また、
等や東アジア等への県産品の売り込みを図ります。
見据え、競技団体等への支援を充実・強化します。
交通体系の整備を促進します。

● スポーツを通じた交流推進事業
…………… 3,097万円
・スポーツイベントの開催支援、合宿の誘致等

新 FISワールドカップモーグル大会開催事業
…………… 7,600万円
・田沢湖スキー場でFIS(国際スキー連盟)ワールドカ
ップモーグル大会を開催

● 2020プロジェクト推進事業 …… 1,229万円
・東京オリンピックなどの国際スポーツ大会に係る事
前合宿誘致に向けて活動

● 地方道路交付金事業(大館能代空港西線(鷹
巣西道路))…………… 12億5,800万円
・日本海沿岸東北自動車道「ニツ井白神～あきた北空
港間」の一部として整備



IV 元気な長寿社会を実現する 健康・医療・福祉戦略

…………… **125億1,500万円**

生涯にわたって生き生きと、安心して暮らせ
る地域づくりを目指し、県民誰もが健康で住み
慣れた地域で暮らしていくための体制づくりを
進めます。

● 医療・介護・福祉ネットワーク構築事業
…………… 532万円
・在宅生活支援に向けた、医療・介護・福祉の各分
野の機能向上と相互連携を促進

● 健康づくり総合対策事業・減塩推進事業
…………… 1億8,073万円
・生活習慣病対策や減塩運動などの健康づくりを
総合的に推進

● 総合的ながん対策の推進 …… 2億1,598万円
・がん予防に関する普及啓発、がん検診の推進、が
ん治療研究への支援等

● 認知症疾患医療センター運営事業
…………… 552万円
・地域における認知症医療と
介護の充実、福祉との
連携の強化を図る



V 未来を担う教育・ 人づくり戦略

…………… **173億3,100万円**

次代を担い、グローバル社会で活躍できる人
材を育成します。

● 県立高等学校の再編整備等
…………… 80億8,404万円
・統合高校の新設及び校舎改築など

● 少人数学習推進事業…………… 6億2,858万円
・30人程度学級を、新たに中学3年生に導入

● あきた発!英語コミュニケーション能力育成事業
…………… 1億6,853万円
・小中高連携による英語教育の充実

新 スーパー・グローバル・ハイスクール事業
…………… 1,600万円
・世界で活躍できるグローバル・リーダーを高等学校
段階から育成

● ロシア友好交流事業 …… 918万円
・ロシア沿海地方等との交流を拡大

● 県民の読書環境の向上…………… 2,758万円
・県民読書の日(仮称)の制定・記念事業の開催など、
県民運動を推進



VI 人口減少社会における 地域力創造戦略

…………… **73億7,300万円**

人口減少と急速な高齢化が進む中、高齢者
等が安心して暮らせる支援体制を構築すると
ともに、地域活性化策を推進します。また、県外
からの移住・定住を拡大するとともに、県民一丸
となった少子化対策により、本県人口の減少に
歯止めをかけます。

新 秋田型地域支援システム推進事業 …… 1,181万円
・高齢者の社会参加や地域の実情に応じた支え合
い体制の構築を推進

● あきた未来づくり交付金事業…………… 10億4,260万円
・県市町村未来づくり協働プログラムに基づく各ブ
ロジェクトを支援

● 雪対策推進事業…………… 1億5,022万円
・安全な除排雪作業の普及啓発や高齢者世帯等へ
の助言など

新 あきた移住推進事業…………… 2,605万円
・県外在住者の移住や交流を促進

● 官民協働による“脱少子化あきた”総合推進
対策事業…………… 2億2,413万円
・官民協働で脱少子化に取り組む県民運動を推進

● 出会い・結婚支援事業 …… 4,775万円
・あきた結婚支援センターを中心とした出会い・結
婚支援等

● 福祉医療費等助成事業(乳幼児・小学生分)
…………… 8億5,489万円
・乳幼児及び小学生の医療費に対し助成

● すこやか子育て支援事業…………… 11億2,030万円
・乳幼児の保育料に対し助成

● 秋田を支える人材確保支援事業 …… 4,331万円
・新規学卒者等の県内就職促進や県内企業の人
材確保等を図る

その他

安全・安心な県民生活 …… 17億6,900万円
自然災害等から生命と財産を守るため、災害の未然
防止に向けた取組を行うとともに、市町村・関係機関と
連携した総合的な防災対策を推進します。

● 土砂災害危険区域の周知 …… 1億2,000万円
・地域住民等への土砂災害の危険性の周知、危険
箇所を示す看板の設置

● 地域防災力強化事業…………… 300万円
・自主防災アドバイザーの県内各地への派遣、総合
防災訓練の実施

経済・雇用対策…………… 602億1,800万円(再掲含む)
地域の雇用維持・創出を図るため、金融対策・資金
対策や高卒者の県内就職支援を行うなど、緊急的な経
済・雇用対策を引き続き機動的に推進します。

● 金融対策・資金対策 …… 546億5,928万円
・経済情勢の変化に対応した金融対策・資金対策を
引き続き実施

● 新規高卒者等の県内就職促進 …… 1億6,599万円
・マッチング機会の提供、若年求職者等の職業相談
など各種支援を実施

● 雇用対策…………… 40億6,961万円
・1,700人以上の雇用創出と人材育成を図る

● 消費の下支え対策による県内需要の拡大
…………… 12億3,808万円
・住宅リフォーム、住宅用太陽光発電システムの設置、
秋田スギ製品を使用した住宅の建設に対し助成

自由民主党 会派の紹介

総務企画委員会

総務部、企画振興部、選挙管理委員会、人事委員会などで取り扱う事項



委員長

加藤 鉦一
政務調査会長代理
由利本荘市②
経済・雇用特別委員



副委員長

柴田 正敏
政務調査会長
横手市③
未来づくり分科員



大里 祐一

会計監督
鹿角市・郡⑤
ミヤケ等の経営に関する特別委員



小田 美恵子

組織委員長
女性部長
由利本荘市④
ミヤケ等の経営に関する特別委員



大関 衛

総務会長
湯沢市・雄勝郡④
議会運営委員
経済・雇用特別委員
ミヤケ等の経営に関する特別委員

福祉環境委員会

健康福祉部、生活環境部で取り扱う事項



副委員長

佐藤 賢一郎
財務委員長
政務調査副会長
大館市②
経済・雇用特別委員



平山 晴彦

組織委員
南秋田郡③
議会運営委員長
未来づくり分科員
ミヤケ等の経営に関する特別委員



近藤 健一郎

広報委員長
北秋田市・郡②
議会運営副委員長
経済・雇用特別委員



工藤 嘉範

選挙対策副局長
組織副委員長
秋田市②

農林水産委員会

農林水産部で取り扱う事項



委員長

竹下 博英
政務調査副会長
秋田市②



副委員長

菅原 広二
財務副委員長
男鹿市①
議会運営委員
未来づくり分科員
ミヤケ等の経営に関する特別委員



能登 祐一

県議会議長
党紀委員
能代市・山本郡⑤



大野 忠右エ門

党紀委員長
大仙市・仙北郡⑤
議会運営委員

産業観光委員会

観光文化スポーツ部、産業労働部で取り扱う事項



委員長

原 幸子
青年部長
女性部副部長
政務調査副会長
大仙市・仙北郡②



副委員長

菅原 博文
広報副委員長
秋田市①
未来づくり分科員



鶴田 有司

幹事長
横手市⑤



武田 英文

党紀副委員長
能代市・山本郡④
予算特別委員



渋谷 正敏

選挙対策局長
にかほ市③
議会運営委員
経済・雇用特別委員

建設委員会

建設部、出納局、監査委員、労働委員会で取り扱う事項



委員長

佐藤 雄孝
政務調査副会長
仙北市②
ミヤケ等の経営に関する特別委員



副委員長

佐藤 健一郎
県議会副議長
党紀委員
由利本荘市⑥



川口 一

副幹事長
鹿角市・郡④
未来づくり分科会長



最上 英嗣

青年部副部長
秋田市①
未来づくり分科員

教育公安委員会

教育委員会、公安委員会で取り扱う事項



委員長

小松 隆明
政務調査副会長
大仙市・仙北郡②



北林 康司

会計監督
秋田市⑦
ミヤケ等の経営に関する特別委員



鈴木 洋一

副会長
大館市⑥
※会派会長



北林 丈正

総務副会長
北秋田市・郡②
議会運営委員
経済・雇用特別委員
未来づくり分科員



凡 例

氏名

県連の役職
選挙区／当選回数
議会運営委員
特別委員会の所属

自由民主党 秋田県支部連合会

〒010-0951 秋田市山王四丁目6-12

電話 018-823-6377 ファクス 018-865-1887

■http://www.jimin-akita.or.jp/ ■E-メール info@jimin-akita.or.jp

自由民主党会派と県民をつなぐ
Link リンク

発行／平成26年3月31日
ご質問、ご意見をお聞かせください。

編集／秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号【県議会内】
電話 018-860-2040 ファクス 860-2102